

東洋交通労働組合 第50回 定期大会 2024年度運動方針(案) 満場一致で決定!

ライドシェアの脅威に立ち向かい公共交通機関としてのタクシーを守るろう!



《菊池執行委員長の挨拶》
タクシー業界では、昨年11月に全国で一斉に値上げ申請が進み、運賃値上げによる営収増で実質賃金は上昇し、低賃金の不満の声は少なくありません。しかし、売上が増えれば歩合給が増えるのは当然の結果であり、賃上げとはいえません。1台当たり営収は上昇しているものの、稼働人員数はコロナ前と比較して未だ2割減の状況です。タクシー乗務員が不足した原因は、無責任な規制緩和によって引き起こされた低賃金化であり、コロナ禍でも歩合給中心の賃金体系のまま満足な賃金補償もなく離職者が相次いだことにあります。だからこそ供給不足を解消するために優先するべきは、タクシー乗務員の安定した賃金を実現し、若者や女性、高齢者も働きやすい職場環境を整備し、働く仲間を増やすことに他なりません。

《ライドシェアの脅威》
現在、タクシーの乗務員不足を理由に「ライドシェアII白タク合法化」をすべきとの声が勢いを増しています。日本維新の会をはじめ自民党内でライドシェア解禁について議論する意向を示すなど、連日SNSやニュースではライドシェアはタクシーより安価で便利だと印象操作を意図した発信が目につきます。しかし、導入された諸外国でもライドシェアは危険性が高く、既に弊害が明らかとなり、禁止や再規制が進んでいます。無責任な発信に惑わされることなく、正しい知識を持ち、その危険性を世論に訴えることが現場の乗務員にできる重要な行動となります。また、国政選挙で維新が議席を伸ばし、自民との連立政権などを組むことになれば、恐ろしい将来が待っています。私たち自身の生活を守るために政治力の強化が必要です。国政選挙が行われた際は必ず投票に行き、国民の命と生活を守り、タクシー産業を支える議員を選出し、国会に私たちの声を届けましょう!

《東洋交通における賃金・労働条件の闘い》
2023春闘では賞与ハッピー年金制度改善の協議の開始、職場施設修理等の明記と、昨年を上回る労働組合員の22,560,000円の解決金の回答を、誠意ある回答と評価し妥結・調印に至りました。東洋交通労働組合は、組合として労働者の品質にも責任を持つと経営側へ明言していますが、東洋は、直系子会社の中でも事故・苦情件数が群を抜いて多く、プロドライバーとしての品質向上は従来からの課題です。現在、モニタリングについては皆さんの努力によりベスティー入りを果たしています。ひとりひとりが務めを果たすことで東洋の評価が上がり、賃金・労働条件闘争を優位に進めることができます。一丸となって品質向上に取り組み、賃金・労働条件改善を勝ち取りましょう!

《クラブポイント授与》
2023年度の組合行事(定期大会・明番集会・メーデー動員など)の出席や署名活動などの協力により各クラブにポイントが付与され、クラブ補助金に換算されクラブの代表者に手渡されました。2024年度もクラブ一丸となって組合活動へのご協力をお願いします!!

10月14日(土)赤羽北区民センターにて東洋交通労働組合第50回定期大会が開催され、2023年度活動報告、2023年度会計報告を行い、質疑はなく満場一致で承認されました。

- 第1号議案「2024年度活動方針(案)」
- 第2号議案「2024年度予算案」
- 第3号議案「第49期50期の役員の補充」

- 1. 公共交通としてのタクシーを守る制度・政策要求実現の闘い
- 2. 東洋交通における賃金・労働条件改善の要求と闘い
- 3. 組織強化と拡大の闘い
- 4. 法対活動について
- 5. 安全運行の取り組み
- 6. 文体活動について
- 7. カンパ活動について

《定年功労者表彰》(敬称略)

| | | |
|------|----|-----|
| 2096 | 松澤 | 信弥 |
| 2839 | 上田 | 忠生 |
| 5328 | 秋本 | 満 |
| 5520 | 岡部 | 義明 |
| 5550 | 細井 | 真実男 |
| 5588 | 高橋 | 正和 |
| 5814 | 古谷 | 泰至 |

今年度は7名が表彰され、記念品が授与されました。おめでとうございます!



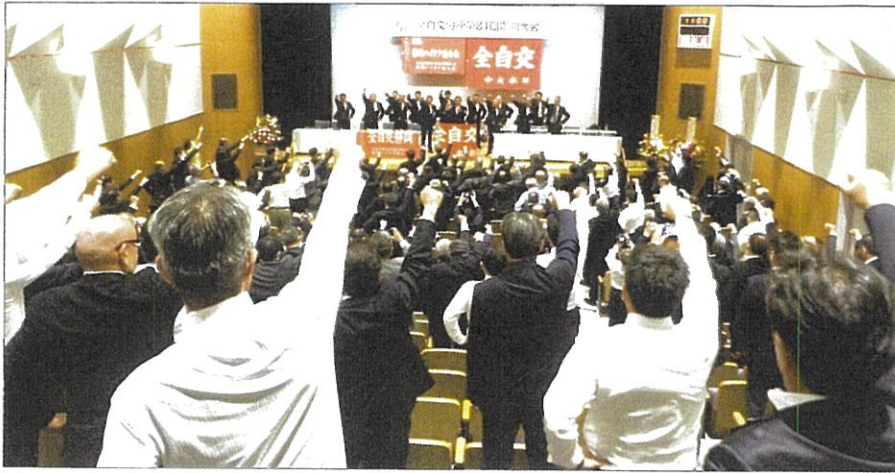
「白タク=ライドシェア合法化を断固阻止し
物価高騰に負けない賃金・労働条件を目指して団結してガンバロー！」

ライドシェア合法化阻止を阻止！ 運賃改定を賃上げに！ 労働条件改善で仲間を増やす！

全自交労連 第81回定期大会

2023年10月16、17日の両日、静岡県で第81回定期大会を開催し、新年度の運動方針・予算案が承認されました。

冒頭、溝上泰央中央執行委員長は挨拶の中で「コロナ禍で影を潜めていたライ



ドシェア導入勢力が昔前総理の発言以降、容認論が出てきた。また、作為的なマスコミ報道もある。かつてライドシェアを解禁していないバカな国と言っていた人がいたが、彼が今発信している内容は2016年の話。今では先進国38カ国中30カ国で禁止され、導入したところも問題が山積司法裁判所が禁止を決定したところもある。全自交労連としては地方創生を目的とした経済対策のためであつても、安全をないがしろにするライドシェア導入は反対だとする公式声明を发出了。いまが正念場」と語気を強めました。

新年度運動方針の重点項目として「魅力的な職場環境を推進」「他産業との賃金格差を是正」「エッセンシャルワーカーにふさわしい賃金・労働条件を築こう！」「安全・便利で持続性のある地域公共を構築」「国・自治体の強力な支援策の実行」「持続性なき定額乗り放題の拡大は認めない」「タクシ-の適正運賃と適正需給の実現」「改善基準告示違反の一掃」「白タク根絶！白ナンバー有償輸送の安易な拡大反対！」「雇用を破壊し物価高・低賃金を放置し、軍拡を進める自公政権打倒！政権交代の実現」「職場の組織率向上！組織拡大の前進」をスローガンに掲げ全国組織として運動を進めていくことを宣言しました。

全自交東京地連 第126回定期大会



新役員体制でライドシェアに立ち向かう！ 今年度運動方針を確立

10月31日、四谷区民ホールにて定期大会を開催し、今年度の運動方針を決定しました。見須委員長は昨年11月の特区・武三地区などの運賃改定や、コロナ禍以後の利用ニーズの高まりで一時的に需要に抑えられない状況が続いているとし、「ライドシェア推進の動きが高まり、岸田総理の発言で導入が本格化しかねない状況になっている。阻止するためには地域公共交通協議会などできつかりタクシ-労働者として発言することが必要。運動に理解を示す議員と連携して議会に送り出すことも大事であり、そうした取り組みでライドシェア絶対阻止を実現できる。ただ反対するだけでなく、一人ひとりが接客接遇にしっかりと取り組み、ドアツー・ドアの交通機関として社会貢献もお願いしたい」と述べました。

今大会で役員改選を行い、見須委員長が退任。新たに内田亨氏(大和自交労組)が就任。直井書記長が退任。後任に本田明広氏(京自労)が就任しました。東洋交通労組からは菊池るみ執行委員長が東京地連の副委員長再任となりました。

「ライドシェア絶対阻止」を会場全体で誓い合い、内田新委員長の力強い団結ガンパローで新年度がスタートしました。

タクシー業界を守る 署名活動にご協力を！！

全自交労連・交通労連ハイタク部会・私鉄総連ハイタク協議会で組織する「ハイタクフォーラム」が危険なライドシェアを許さず安全な公共交通を守るための請願を行います。

二種免許を持たず体調やアルコールのチェックすら受けない一般ドライバーが整備・点検の不十分な自家用車で料金を受け取り利用者を運ぶ『白タク』です。

海外では交通事故・性犯罪・強盗・傷害や殺人の多発、不透明な料金や働く人のワーキングプア化が大きな問題となり、先進国の約8割が禁止しています。

ライドシェアを導入し、私たちが必死で守ってきた輸送の安全を踏みにじることは絶対に許すことができません。これからも安全で利便性の高い日本の公共交通を守っていくために、一人でも多くの署名が必要です！12月中旬までにできるだけ多くの署名が必要です。

本人だけではなくご家族全員・ご友人にもご協力をお願いしてください！